



大石南中学校だより

五弁の花

令和3年度 臨時号「学校評価」

【学校教育目標】

人生の基礎を培い、夢を語り、
向上心と勇気を育てる
- 出合い、ふれあい、学びあい -

校長 大澤 聡
令和4年3月1日発行
電話 048-726-0511

令和3年度大石南中学校の学校評価がまとまりましたので、お知らせします。本校は学校経営方針「生徒一人一人を大切に、個性や能力を伸ばす教育の推進」のもと、生徒一人一人に目を向け、「生徒が主体的に考え、行動すること」に重点をおいた教育活動を進めてきました。その基盤となっているのは、運用3年目となった「石南 LIFE」（生徒が作った学校生活のきまり）です。また、これまで学校区で進めてきた「わた☆これ」を見直し、「大石南地区スター宣言」を作成し、今年度から取組みを始めました。清掃の取組み「石南磨心清掃」も質的な向上をみせています。ここでは、教職員による今年度の自己評価の結果と、生徒・保護者のアンケート結果から紹介します。別添資料と合わせてご覧ください。なお、評価及びアンケートは7月と12月の2回実施しています。

1 「学校評価」(職員による自己評価)から

【評価できること】

- (1) 「健康・安全教育」
特色ある取組みとしては、水害からの避難計画を立てる「マイ・タイムライン」の作成や垂直避難訓練の実施があげられます。また、令和2、3年度埼玉県教育委員会から「体力向上研究校」の指定を受け研究に取り組み、全教育活動を通じて体力向上と、健康安全教育の推進に力を入れてきました。この取組みが評価され、埼玉県教育委員会から「体力向上優良校」の表彰を受けました。
- (2) 「生徒指導」
「石南 LIFE」を基盤とした生徒指導が定着してきました。教職員の共通理解に基づいた生徒指導や教育相談が行われており、いじめの早期発見や早期対応ができています。
- (3) 「環境整備」
「石南磨心清掃」の取組みが浸透し、学校をきれいにしようという意識が高まっています。また、計画的な掲示ができています。PTAの協力を得ての環境整備も進んでいます。

【課題・次年度に向けて】

- (1) 「学習指導」
基礎基本の定着、思考力・判断力・表現力の育成については、さらに研究を進めていく必要があります。また、ICTを活用した学習についてもさらなる研究を進めます。
- (2) 「進路・キャリア教育」
外部からの講師を招聘しての講演会等を積極的に実施しました。ふれあい講演会、オンライン企業訪問、社会保険労務士による講演などです。高校卒業後を見通せる進路指導ができるよう取組みを進めます。
- (3) 「保護者・地域との連携」
今年度も、授業参観が実施できず、体育祭も無観客で行いました。合唱祭については、保護者に参観していただきました。地域の行事等もほとんど中止となり、職員が地域に出て行くような機会はほとんどありませんでした。

2 生徒アンケートから

【評価できること】

本校で力を入れている「磨心清掃」の評価が7月と比べて12月では大きく上がっています。継続的に力を入れて取り組んできた成果であると考えます。同じく、本校の特色である「石南 LIFE」についても、生徒がしっかりと意識をもって関わっていることがわかります。落ち着いた秩序ある学校生活が送れていると生徒自身が感じていると受け止めています。また、「公共のものを大切にしている」や「いじめやいやがらせは絶対にしない」の項目が高い数値となっていることは評価できます。

【課題・次年度に向けて】

職員の自己評価と同じく、学習についての評価が低いことが課題です。「家庭学習への取組み」「授業の内容がよくわかる」「提出物を期限を守ってしっかり出している」が低い評価となっています。また、今年度から取組みを始めた「スター宣言」の定着は今後の課題であるにとらえています。

3 保護者アンケートから

【評価できること】

7月と12月で大きな差はありませんが、「学校は、将来の職業や進路についての適切な指導をしている」「教師は子供をよく理解している」「子供は楽しく学校に通っている」が5ポイント以上アップしています。

【課題・次年度に向けて】

「子供達は、宿題などの家庭学習をよくやっている。」については、「あまりそう思わない」「全くそう思わない」の割合が20%を超えています。家庭学習・自主学習の取組みは引き続き、来年度の課題とします。

4 学校関係者評価について

令和4年1月24日(月)本校多目的室にて、学校関係者評価委員会を開催し、本年度の学校評価、生徒保護者アンケートについてご意見を頂きました。学校関係者評価委員は学校運営協議会委員の皆さまにお願いしました。

【評価されたこと】

- (1) 適切な評価となっている。
- (2) 「学校が楽しい」と思えることは、生活習慣の向上、将来に向けた考え方の向上などにつながる。これからもよい学校経営をお願いしたい。

【次年度への課題】

- (1) 「よい割合」については、なぜよいのかという考察を詳しく載せて欲しい。
- (2) 学校側はデータをもっているとは思いますが、学年別や男女別での数値を示した方がよい。

※別添した資料とあわせてご覧ください。